

〒297-0024 茂原市八千代 2-10
千葉県教育庁東上総教育事務所
TEL 0475-23-8125 FAX 0475-25-3143
E-mail hkzs04@mz.pref.chiba.lg.jp
第2号



茂原七夕まつり



平成30年7月13日(金)発行

管理課より

★★★不祥事根絶とモラルアップ★★★

不祥事根絶に向けては、日頃から、各学校をはじめ各市町村(組合)教育委員会等において、研修会等をとおして熱心に取り組んでいただいておりますこと感謝申し上げます。

しかしながら、県内においては、未だに不祥事が後を絶ちません。平成29年度の懲戒処分件数(監督責任・県立学校事務職員を除く)は21件、一昨年度の約2倍にも及びました。その処分事案は、「わいせつ・セクハラ」が11件と約半数を占め、他の事案では、「飲酒運転」・「個人情報紛失」・「ストーカー行為」等がありました。

今年度については、「飲酒運転」・「公金の着服」・「加害交通事故」・「飲酒運転及び窃盗」の4件の事案で、すでに懲戒処分となっています。

こうした現状を受けて、県教育委員会では、「教職員としての情熱・誇り・使命を胸に」を不祥事根絶メッセージとして掲げ、教職員一人一人の自覚・倫理感を高めるよう取り組んでいます。

各学校をはじめ各市町村(組合)教育委員会等においては、不祥事根絶リーフレットの活用や職員参加型の研修の実施など、引き続き、不祥事根絶に向けた取り組みを充実させていただくとともに、職場のモラルアップを図るために、一人一人がやりがいや、成就感・達成感、帰属意識を持てる職場づくりを推進していただきたいと思っております。



指導室より

公開研究会を予定している学校(東上総管内)の御案内



【確かな学びの早道「読書」事業】

山武市立日向小学校 (11/27)

【地域における食育指導推進事業】

山武市立睦岡小学校 (10/26)

東金市立西中学校 (11/9)

【特色ある道徳教育推進校における研究(兼 心の教育推進キャンペーン)】

九十九里町立九十九里中学校 (9/27)

【千葉県教育研究会算数・数学教育研究大会】

山武市立成東小学校

山武市立成東中学校

(11/2)

【学力向上交流会】

長生村立長生中学校 (11/16)

【特色ある道徳教育推進校における研究(兼 心の教育推進キャンペーン)】

長生村立八積小学校 (11/27)

【「ちばっ子の学びの変革」推進事業】

長生村立高根小学校 (1/23)

【学校安全総合支援事業

(命の大切さを考える防災教育公開事業・モデル校)】

いすみ市立大原中学校 (11/29)



東上総のマーク (H26作成)

緑の山、青い海...と自然豊かな東上総地区をモチーフにしています。

※詳細については、各校からのお知らせをご覧ください。

総務課より

通勤・扶養・住居手当の事後確認を実施します。

3つの手当について、認定時の状況と変更がないか、要件を満たしているかどうか、毎年1回事後確認を行います。

誤って手当を支給されていると、該当の手当を返還するだけでなく、期末手当や所得税、住民税、共済組合の認定取消など、様々な影響を及ぼす可能性があります。

所属の事務職員から関係書類の提出依頼がありましたら、速やかに提出をお願いします。また、届出内容に変更が生じた場合は、その都度速やかに事務職員へ申し出てください。



「平成30年度 第3回初任等事務職員研修会」を開催しました。

6月6日（水）に第3回初任等事務職員研修会を開催しました。今回は、第2回市町村（組合）教育委員会事務局担当者研修会と合同開催で、通勤・扶養・住居手当の事後確認、グループ別研修、社会保険・雇用保険について研修を行いました。グループ別研修では3つの手当の事後確認について、事務処理の流れや注意すべき点等、2～3年目の事務職員を中心に実際の経験をもとにグループで話し合い、全体で発表を行いました。



経験者が初任者へわかりやすく説明したり、それぞれの工夫している点を話したりと、どのグループも活発な話し合いが行われていました。

8月9日（木）には、第4回初任等事務職員研修会と15年経験者研修会を予定しております。研修会を通し、事務職員の更なる資質向上を図ってまいります。



プログラミング教育実施に向けて②

・・・平成29年第6号の続き・・・

私たちは、日々の生活や授業において、活動の見通しを持つこと、物事を筋道立てて考えること、手順を考え相手に伝わるように表現すること、物事がうまくいかなければ修正を加えたり最適化を試みたりすることなど、コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な活動やプログラミング的思考につながる理論的思考力を高める活動を無意識のうちに行っています。

プログラミング教育の実施に当たっては、プログラミング体験にたくさんの時間を割いたり、プログラミング的思考を難しく捉え過ぎて悩んだりせずに、今まで行ってきた学習活動の中からプログラミング的思考につながる活動を探り、できるところから年間指導計画に反映させていくのが良いと思います。あくまでも各教科等の目標の達成が目的であり、プログラミングすることが目的にならないようにしなければなりません。まずは、先生方がプログラミング的思考を意識することから始めてみてはいかがでしょうか。

なお、中学校では技術・家庭科の「D情報の技術」において「プログラミング教育を充実させていくこと」と示されています。小学校や高等学校との連携がより必要になります。

☆ 小学校プログラミング教育の手引(第一版) (平成30年3月 文部科学省)

現段階で一番詳細な手引です。ダウンロードをしてご活用ください。

☆ 小学校におけるプログラミング教育のモデルプランの公開

千葉県総合教育センターWebサイト (<https://www.ice.or.jp/nc>) 上から、行内研修や授業で活用できる指導案・ワークシート・アンケート・提示資料がパッケージとしてダウンロードできます！